

2021年度 アンデス・アマゾン学会第10回研究大会プログラム

開催日時：2021年7月3日（土）13:30～18:00、7月4日（日）10:00～12:20

方法：Zoomによるオンライン開催（参加方法は別途連絡）

《プログラム：1日目》

7月3日（土）

13:30 開会

13:30～13:35 開会挨拶 第10回研究大会実行委員長 大平秀一（東海大学）

研究発表（発表時間 20～25分 質疑応答 5～10分）

13:35～14:05 岡本年正（慶応義塾大学）

「近代医療従事者と民俗病（仮）」

14:10～14:40 Angelica Palomino de Aoki (Universidad Doshisha)

「Religiosidad en los Andes peruanos」

14:45～15:15 鳥塚あゆち（関西外国語大学）

「中央アンデス高地におけるアルパカの改良と有色毛回復プロジェクト：
現地調査に向けた課題」

15:15～15:25 ～ 休憩（10分）～

15:25～15:55 真鍋周三（兵庫県立大学）

「17世紀ペルー副王領のポトシにおける貨幣の偽造とその影響」

16:00～16:30 石丸香苗（福井県立大学）

「アマゾン下流部都市近郊域におけるサブシステムの役割」

16:30～17:00 総会

17:00～18:00 オンライン懇親会

《プログラム：2日目》

7月4日（日）

10:00～10:30 星川真樹（拓殖大学）

「ペルー・リマ県都市近郊山岳農村の声（仮）」

10:35～11:05 大平秀一（東海大学）

「新世界表象とヨーロッパ：食人と処刑文化」

11:10～11:40 長尾直洋（名桜大学）

「ブラジル日本移民をめぐる『日本人と先住民の近縁性』言説に関する一考察～第二次世界大戦後の邦字新聞を中心に～」

11:45～12:15 加藤隆浩（フリーター）

「ドラ・マイエル作『セルバのドラマ』（1915）：Asociación Pro IndígenaのBoletínの使い方」

12:15～12:20 閉会挨拶 アンデスアマゾン学会会長 真鍋周三

12:20 閉会